



安全対策
や
コロナ対策
について

東急電鉄に聞いてみた!!

「めぐるう」編集員が電車に乗る時に共通して思ったことが、コロナ対策!

目黒区内も走る東急電鉄はどのように対策を進めているのか、興味が湧きました。

東急電鉄にとってアンケートを元に自分たちも安全対策について考えてみました!

東急電鉄のコロナ対策

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) が流行しているこの頃ですが、通勤・通学等で移動手段として鉄道を利用することは多く、より感染症対策が求められます。そこで今回「めぐるう」では、新型コロナウイルス感染症の感染予防にどのような対策を行っているか、アンケートを作成し多くの目黒区民の生活の足となっている東急電鉄に回答をいただきました。

東急電鉄では、接客をする駅係員、また、乗務員や電気設備・車両を保守する係員において共通の対策を行っています。行っている対策は、出勤または勤務中のマスクの着用、出勤または勤務前の検温、勤務中のこまめな手洗いなどです。また、微熱や少しでも体調が悪い際には、休暇を取るなどといったことも行っています。

一方、車両や駅の設備の消毒も行っています。駅の消毒は、朝5時〜6時頃と、夜間の乗客の少ない時間帯や、日中の清掃のタイミングなど、電車が運行中の時間帯でも消毒を行うことで、

東急電鉄の安全対策

東急電鉄は安全の確保について、「鉄道事業の最大かつ最重要の、お客様に対する責務である」としています。安全対策には、私たち乗客から見えるものと、見えないものがあります。

注意深く周りを見れば、あらゆる対策を発見できますよ。ホームで考えてみましょう! 東急電鉄はホームドア・センサー付固定式ホーム柵の設置100% (世田谷線・こどもの国線を除く) を達成し、ホームからの転落件数が大きく減少しました。駅係員よびだしインターホンや非常停止ボタンといった設備のほか、点字ブロック、転落防止の表示などたくさんの方が見られます。



ているのでしょうか。定期訓練のほか、乗務前には健康確認・アルコールチェックを必ず行います。安全運行に欠かせない保守作業は、なんと終電から始発の間に終わっているとのこと! また、危険体感研修や競技会を通じて、安全に対する意識向上と技術伝承の取り組みも行っているそうです。

では、安全運行のために私たちができることは何でしょうか。

例えば……

- 困っている方を見かけたら「大丈夫ですか? お手伝いしましょうか?」と声をかける。
- 歩きスマホ、駆け込み乗車をしない。
- 乗車中、周囲で具合の悪い方がいる場合や、異常が発生した場合に是非常通報ボタンを押す。

東急電鉄の安全への「本気」が伝わりましたか? 私たちにできることを心に留めておいて、安全運行に協力しましょう!

より安心して駅を利用できるようにしています。車両については、手の触れることの多いドア、つり革、握り棒などを定期的に消毒しているほか、自動改札機のICカードをタッチする部分とエレベーターのボタンには、抗ウイルス効果のあるコーティング剤を塗布して、自動券売機のタッチパネルには、抗ウイルス効果のある透明なシートを貼付しています。

現在、東急電鉄では感染症対策の動画を動画投稿サイトに投稿したり、東急各線の列車内の液晶モニターで放映したりと、東急線をより安心して利用できるような取り組みも行っています。

私たちも、安心して利用できることを知ったうえで、より一層、感染症対策を心がけていくことが大切と考えました。



東急の都市開発



私たちが住む目黒区が日々新しい姿に変わり良くなっていく風景を見て私は都市開発に興味をもち調べました。最近、南町田グランベリーパークや渋谷の再開発で話題の東急株式会社。この目黒区でも中目黒高架下などがあります。私たち学生からしても、街がよりよくなる姿を見たいですね。読者の皆さんにも都市開発に興味を向けてもらえるように記事にまとめてみました。

都市開発において重視している点は主に3つあります。1つ目は子育てがしやすいまちづくり。2つ目は総合商業施設を作り、地域経済を活性化させること。3つ目は高齢化、人口減、老朽化等を防ぐために産、学、公、民が連携して住みやすい環境作りをしていくことです。現在渋谷の再開発や神奈川県周辺のベッ

ドタウンの開発が進みつつありこれから期待です。今回の記事作成を通して都市開発によって、より良い街をつくらうとしている事が調べて分かりました。また、会社の利益だけを考えずに地域のことや将来のことを見据えて都市開発をしている姿をみて更に興味が湧きました。今後、東京近郊に限らず過疎化などが進む地方にもこのような都市開発が入り、地域がより活性化していくといいなと思います。

※東急電鉄として開発は行っていません。

※東急株式会社ホームページ参照

●一年目早々から記事を書くことになり本当に完成できるのか不安になったこともありましたが、分らない事だらけの自分を助けてくれた先輩のお二人と職員さんには本当に感謝です! (晴起) ●安全運行を支える仕組みや感染症対策の細かさに驚きました。「日々のアップデートを大切にする姿勢」、東急線の魅力の秘密に納得です! (利知) ●私は東急線の沿線に住んでおり、よく乗る機会がありますが、詳しい感染症対策の概要を知り、安心して乗ることができたのだと改めて実感しました。(容道)

取材・文: 塩田晴起、横山利知、幸田容道